

四万十市ふるさと応援団員からの便り

## 四万十の人々の温かさに触れて



豊田 廉

さとし

兵庫県明石市

昭和19年生まれ

初めての四万十は、一昨年12月9日、歩き遍路で38番札所金剛福寺への途中、中村駅前で一泊するためでした。

室戸から土佐湾沿いをひたすら歩きやっと辿り着いたのですが、あまりの難儀さに、諦めて帰ろうかと迷っていた時、バス停前の店から、女性がお盆に和菓子とお茶をのせて「頑張ってください。歩き遍路はお大師さんのお加護が2倍にも3倍にもなりますよ」と温かい言葉とお接待をいただきました。

その後、食料調達にコンビニへ入ると女店員さんに「車に気を付けて元気で歩いてください」と励まされ、ホテルではスタッフの方が金剛福寺への道を懇切丁寧に説明してくれました。

お接待、励ましのお言葉、親切な応対を次々としてくださった四万十の人々の温かさに、萎えそうになっていた気持ちもいつの間にか消え、ここで止めたらアカン、お大師さんに合わず顔もないと思いつつ、翌日から久百々、38番、39番と歩き土佐を無事打ち終える事ができました。

その後一國参りで伊予、讃岐と巡り、辛くなると四万十のことを思いだし、昨年の11月22日についてに結願できました。

今春には高野山にお礼参りにゆき、四万十市の平和と発展をお祈りしていきます。

本当にありがとうございました。